



しみの治療方法は大きく2種類あり、レーザー治療と光治療とがあります。原理的に両者はほとんど同じで、茶色や黒に反応する特殊な光が出ています。この光がしみの色素に反応し熱エネルギーとなり、色素細胞を選択的にダメージを与え効力を発揮します。

レーザー治療の方が光治療に比較して、色素に対して強く反応します。このためレーザー治療の方が効果は高いですが、メラニン周辺の組織にもダメージを与え、通常のお化粧ができるようになるまでに肌が回復するには数日を要することになります。

### <QスイッチYAGレーザー>

Q-スイッチYAGレーザーは、照射時間がナノ秒単位のQ-スイッチつきレーザーのため、周囲組織への熱ダメージをほとんど及ぼすことなく治療が可能です。当院で使用するQ-YAG 5は、1064nmの波長と532nmの2波長のレーザーを照射可能です。このため症状により2種類の波長を組み合わせるとより効果の高い治療を行っています。

<適応症状> シミ、ソバカス、タトゥーの除去、アザ

<治療回数> 1~2回

<Q-YAG 5のメリット> 確実にシミの治療が可能

<Q-YAG 5のデメリット> 効果は高いが、かさぶたが付いている期間が長く精神的負担が大きい

<治療経過> シミ、ソバカスの治療では、照射部位がやや濃くなり、かさぶたになります。2週間程度で自然に剥がれ落ち、ピンク色の肌になります。その後照射1ヶ月ほどをピークに炎症性色素沈着が起きますが、約3ヶ月で徐々にうすくなっていきます。



### <フォトフェイシャル・ワン>

フォトフェイシャル・ワンは、これまでのフォトフェイシャル等に代表されていたフォトセラピー・光治療が進化した、スーパーフォトセラピー・最新鋭の光治療機です。高い効果と副作用の少ない光治療機として改良・研究開発された3世代目の機械です。フォトフェイシャル・ワンから照射される光はレーザーとは異なるものです。また従来型の光治療機とも異なり、肌へのダメージも少なく、治療効果が得られる治療法です。

当院では、7種類の異なる波長域の光を使い分け、また組み合わせることにより、異なる肌トラブルを持つ一人一人に、オーダーメイドの施術が可能です。

<適応症状> シミ、ソバカス、肌のくすみ

<治療回数> 4週間に1回で、2~5回

<フォトフェイシャル・ワンのメリット> 痛みが少なく肌へのダメージも少ない  
施術直後からメイクが可能

<フォトフェイシャル・ワンのデメリット> 大きいシミについては、レーザー治療と比較して効果が劣る

<治療経過> 照射部位の一部がやや濃くなり、薄いかさぶたになります。1週間程度で自然に剥がれ落ち、シミ・そばかすがうすくなります。

## 料金表

美容皮膚科 料金表